

報道機関 各位

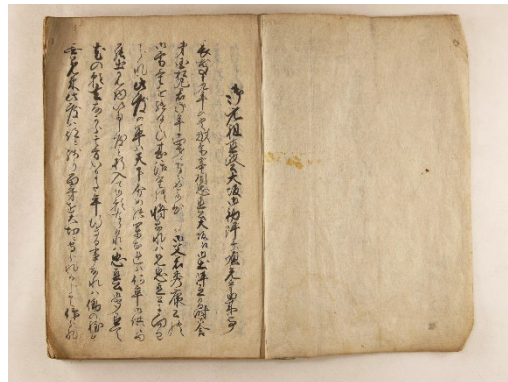
山陰研究交流会「近世山陰の実録が語る虚と実」開催【12/25】

◆本件のポイント！

- ・山陰研究センターの研究活動から、毎月1テーマずつわかりやすく成果をお伝えします
- ・江戸時代、山陰で起こった事件を書き記した実録が語る虚と実について、近年の調査からわかってきたことを報告します

◆本件の概要

本交流会は島根大学法文学部山陰研究センターの研究活動からわかりやすく成果をお伝えし、研究交流のみでなく一般の方にも理解を深めてもらうことを目的として開催しています(全4回)。12月は法文学部・田中則雄教授が「近世山陰の実録が語る虚と実」と題して報告します。江戸時代に書き記された実録は、客観的な記録と小説との中間的な形態で、中に虚も含まれますが、事件の実態や本質を鋭く指摘している部分も見られます。1671年に起こった鳥取藩士宅間八太夫に関する事件を記した実録は、藩の公的な文書が触れない内実の部分、かえって明らかに記しています。こうした実例に即して、地方に伝存する実録の意義について考察したいと思います。



松江藩の実録『雲陽秘事記』

◆概要内容

【日 時】2024年12月25日(水) 16:00~17:30

【テ マ】近世山陰の実録が語る虚と実

【発 表 者】田中 則雄(島根大学法文学部・教授)

【開催方法】Zoomによるオンライン(要事前申込み)

★次回以降の開催スケジュールはチラシをご参照ください。

◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

島根大学法文学部山陰研究センター

電 話:0852-32-9833 / メール:admin-src[at]soc.shimane-u.ac.jp

案内 HP: <https://www.src.shimane-u.ac.jp/docs/2024092600014/>

◇その他

取材につきましてはミーティング URL をご案内いたしますので連絡先にご連絡ください。

開催前日や対面での取材につきましても対応いたします。

【添付資料: あり(1枚) なし】

# 2024年度 山陰研究交流会



参加無料・オンライン

山陰研究交流会では、現時点での研究成果を報告し、それをもとに議論を行うことで、プロジェクト間の研究交流を推進しています。同時に、分かりやすく焦点を絞った話をさせていただくことで、専門分野の人にも研究内容について理解を深めてもらうことを目的として、継続的に開催するものです。

参加無料です。どなたでも、お気軽にご参加ください。

● 日時

2024年10月23日(水)～2025年1月22日(水) (全4回)

いずれの回も 16:00～17:30

● 参加方法

ホームページ掲載の申込み方法をお読みいただき、各開催日の前日までにお申し込み下さい。

【問い合わせ先】

島根大学法文学部山陰研究センター  
〒690-8504 島根県松江市西川津町  
1060 [電話]0852-32-9833

57

2024年

10/23

## 行政は地域住民組織をどう支援できるのか？ — 島根県や原発被災地を事例に考える —

発表者：関 耕平 (島根大学法文学部)

@山陰研究共同プロジェクト「コミュニティ・エンパワメントと地方財政—ソフト事業の制度設計をめぐる—」

58

11/27

## 戦争遺跡と考古学会コミュニティ

発表者：岩本 崇 (島根大学法文学部)

@山陰研究プロジェクト「戦争遺跡の調査・保存活用と学術知の公共化をめぐる学際的研究」

59

12/25

## 近世山陰の実録が語る虚と実

発表者：田中 則雄 (島根大学法文学部)

@山陰研究プロジェクト「山陰の文学・歴史関係資料の基礎的調査研究と発信・公開に関するプロジェクト」

60

2025年

1/22

## 災禍の時代に文学ができること — 3.11後のラフカディオ・ハーンから考える

発表者：宮澤 文雄 (島根大学法文学部)

@山陰研究プロジェクト「〈震災後〉のラフカディオ・ハーン：霊性の文学の再評価と文化資源化への応用」